

# 聖霊降臨節第24主日礼拝

## 《主日朝礼拝式次第》

### 【入祭の部】

前 奏 (黙祷)  
「主イエスよ、われらに」  
(讃美歌 21-1 番)  
J.Ph.キルンベルガー作曲

あいさつ  
讃 美 讃美歌 21/549 番  
開会の祈り  
交読詩篇 詩編 92 篇 1~4、13~16 節

### 【み言葉の礼拝】

聖 書  
✦ヨハネの手紙一 5 章 11~12 節  
✦ヨハネによる福音書 17 章 1~5 節  
(新約 P.447、新約 P.202)  
応 答 唱 讃美歌 21/85 番  
教 話 井上隆晶牧師  
『永遠の命とは』

使徒信条  
【聖餐礼拝】  
奉 献 讃美歌 21/81 番  
教会の祈り (連祷)  
平和の挨拶  
讃 栄 讃美歌 21/83 番  
主のいのり  
陪 餐

### 【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/509 番  
感謝の献物  
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番  
派遣の言葉 井上隆晶牧師  
祝福の祈り  
後 奏 (黙祷)  
「聖なる主の美しさと」  
(讃美歌 21-17 番) 北澤惣作曲

### 【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 勝見 仁  
奏 楽 飯田雅子  
献金当番 エリザベス・P  
受付当番 菱田朱美

### 【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)  
・お話し: 小坪英恵  
◇讃美歌練習 (礼拝後)  
◇合同祈禱会 (礼拝後)  
◇教会学校教師会 (礼拝後)  
◇夕礼拝 (午後 5 時)

### 【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り  
・10月29日(火) 午前9時  
・11月1日(金) 午前9時  
◇英会話グループ  
・お休みです。

### 【次週主日 11月3日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)  
・お話し: 小坪英恵  
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)  
・聖 書  
✦ローマ 7 : 1~6  
✦ヨハネ福音書 19 : 28~37  
(新約 P.282、新約 P.208)  
・教 話 井上隆晶牧師  
『律法からの解放』  
・讃美歌 21 503、85、512  
・交読詩篇 詩編 93 : 1~5  
・司式補佐 屋宮英男  
・奏 楽 鹿野幸枝  
・献金当番 山千代誠子  
・受付当番 黒澤 巖  
◇讃美歌練習 (礼拝後)  
◇合同祈禱会 (礼拝後)

## 聖 句

「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエスキリストを知ることです。」

(ヨハネ 17 章 3 節)

## 【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 28日(月) 午後1時30分「シャロン礼拝」
- ②《10月~11月の行事のお知らせ》  
■10月27日(日) 礼拝後「教会学校教師会」  
■11月3日(日) 午後1時「定例役員会」  
■11月4日(月・祝) 大阪メモリアルパークで墓前礼拝・納骨式を行います。参加される方は教会に10時30分に昼食持参でお集まり下さい。車に分乗して向かいます。  
■11月6日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」大阪YWCA本館2Fチャペル: 参加費500円。どなたでも参加できます。午後7時「中部地区合同祈禱会(蒲生教会)」  
■11月19日(火) 午前10時「心の病の勉強会」参加費500円  
■11月24日(日)「収穫感謝祭」、礼拝後「鍋会と教会懇談会」をいたします。奮ってご参加ください。
- ③先週の教会学校に初めて井垣美咲さん、森脇菜々美さん(共に大阪女学院高3年)が、また礼拝に初めて萩原竜太郎さん(アナスタシアさんの夫さん)が参拝して下さいました。感謝です。
- ④【祈禱課題】  
●宗教法人を取り、広い礼拝堂を建築するため。  
●都島教会が外に向かって宣教する教会になるように。●ガザ地区の人々のため。
- ⑤【先週の集会統計】

日	集 会	男	女	大人	計	礼拝献金
20	CS礼拝	-	4	4	8	¥2,620
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
20	朝の礼拝	7	17	5	29	¥21,700
22	朝の祈り	4	3	-	7	
25	朝の祈り	2	4	-	6	

- ⑥【10/20の献金報告】  
[月定] 小坪英恵、小淵賀裕 (計 7,200円) [互助] 山千代憲一 (計 1,000円) [建築] 小坪英恵 (計 500円) ※ 皆様の献金に感謝します。

## 【先週の説教要旨の続き】

人間の力ではもう平和を作ることは出来ません。神は罪を犯す人とこの世を見捨てません。人間と関わり続けられます。神はこの世界を背負い続けられます。  
③【神と人間は運命共同体であること】イエス様は弟子たちに「わたしが生きてるので、あなたがたも生きることになる。」(ヨハネ 14:19)と言われました。私たちは完全に運命共同体なのです。キリストが死ねば私も死に、キリストが復活すれば私も復活します。キリストが頭なら私は体なのです。私は木の幹につながった枝なのです。自分で生きているのではなく、キリストによって生きているのです。23節「父とわたしとは、その人のところに行き、一緒に住む。」とあるのも神と人の一体を現わしています。私は神の住まう神殿となるのです。

牧師としていような精神障害をもった人たちやホームレスの人たちと関わる中で「なぜこの人なのだろうか」と思うことがあります。どうみても運が悪いとしか思えない、病や不幸を負わされているとしか思えない人がいるのです。それは平山先生によれば「神の受難」を悟らせるためだということです。その人が苦しみがあっても耐え、人を愛している姿を見ると、私たちは慰めと癒しを受け取ります。そこに神の姿を見るからだと思いません。聖パウロが「今やわたしは、あなたがたのために苦しむことを喜びとし、キリストの体である教会のために、キリストの苦しみの欠けたところを身をもって満たしています。」(コロサイ 1:24)と語るように、私たちが神の苦しみを分かち合うのです。苦しみに意味があるのです。そして苦しみの向こうには必ず、愛の勝利があります。私が苦しむ時、キリストも共に苦しみを負っていただきます。それを慰めとして、キリストに似た生き方をしてゆきましょう。